

クリニックレター 2023年12月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック
TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

- 院内では、マスク（不織布マスク）装着をお願いします。
- 発熱・咽頭痛などの症状がある場合は、あらかじめご連絡ください。
まだまだコロナもインフルエンザも流行っています。どうぞご協力ください。

電子カルテシステム変更のお知らせ

12月より、当院の電子カルテシステムを変更いたします。しばらくの間、診察時間や受付での待ち時間が長くなることが予想されます。

また、新システムでは、予約枠が30分毎になります。今後は、30分枠のなかで来院された順にお呼びいたします。

申し訳ございませんが、どうぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

新システム導入により

*携帯・パソコンからの診療予約が簡単になりました。右下のQRコードを読み取っていただくとCLINICS電子カルテ予約用アプリをダウンロードすることができます。

*オンライン診療をこれまでよりもスムーズに受けただけです。またオンライン診療枠を増やすことにより、遠方の患者様にも無理なく御利用いただけます。

（初めてオンライン診療を予約される際には、1回だけ「再診コード」が必要になります。受付で再診コードをお渡ししていますので、どうぞご利用ください）なお、対面診察のweb予約には再診コードは必要ありません。



江戸期の漢方

紀元前200年頃から紀元200年ごろ（前漢～後漢）の時代に書かれた『金匱要略』『神農本草経』『傷寒論』という三大古典が漢方医学の源流である、というお話は以前も繰り返し書かせていただきましたが、中国伝統医学はその後も連綿と発展を続け、10～11世紀には『金元四大家』と呼ばれる名医によって、「補中益気湯」や「防風通聖散」などの今でも頻用される処方を作られました。その後、15～17世紀、明及び清王朝の初期には、李時珍(リジチン)『本草綱目』、張介賓(チカイヒン)『景岳全書』、饗庭賢『万病回春』などの大著が世に現れ、この時代の医学は朝鮮や日本、ベトナムにも伝わりました。

しかし、この頃の医学の理論的支柱であった陰陽五行説 臓腑理論など

が、あまりにも思弁的になりすぎているのではないか、という批判や、当時の儒教思想の復古の潮流に影響されて、17世紀後半から18世紀の日本において、『傷寒論』の時代に戻るべきである、という医師たちが台頭してきました。

その代表が、吉益東洞(ヨシマスドウリ: 1702-1773)と中神琴溪(ナカガキキョウイ: 1744-1833)です。吉益東洞は漢方の世界ではあまりにも有名で、彼に関する研究は莫大なものがあり、私ごときがあれこれ言う資格はないのですが、彼の医療に対する姿勢には非常に興味を惹かれるものがいくつかあり、今後私の研究テーマの一つしたいと思います。また、中神琴溪は、『日本医学史』の中で、「能く古医方の精髓を穿ち得て山脇東洋・吉益東洞等の前賢が言わんと欲せしところを言ひ、成さんと欲せしところを成したるものと言うべく、古医方も是に至て大に備はれりとなすべし」と書かれている程のいわば天才ともいうべき医師でした。彼の弟子たちが書き上げた『生生堂雑記』や『生生堂治譚』などの書物には、

- ・書物に書いてある規則にこだわらない。病は生き物であるから、書物に書いてある通りの（死んだ）処方ばかりを使っても治らない！
- ・教科書に振り回されずに、自分が、さまざまな過去の名医の処方を「家来として」使いこなさなくてはいけない！

というような琴溪の医療に対する姿勢がそこかしこに書かれています。中でも私がもっとも頷いたのは、「必吾ヲ師トスルコトナカレ、吾ヲ師トスルトキハ、吾ヨリ上タルコトカタシ」という言葉です。「日本医事新報」という雑誌があり、その中に「プロからプロへ」というリレーエッセイがあります。実は今年初めに、漢方仲間である日本東洋医学会会長の務めているM先生から、「漢方において、『先達に学ぶ』ことの意義と心得とは」というお題をいただいたのですが、それに対する私の答えは、「先達に学ぶ」とは、「先達の未知を識ること」そして「その先をめざすこと」でした。その時はまだ、中神琴溪のこの言葉は知らなかったのですが、今回、琴溪について調べていく中で、はからずしも私の思いと通じるものを見つけて、うれしかったものでした。

お知らせ

- 年末の診療は12月29日金曜午前診までとさせていただきます。
新年は1月5日金曜から診療いたします。

お車で来院される患者様へ

歩行者や近隣の方の迷惑になりますので、駐車場の指定されたスペース以外、及びクリニック周辺の道路には、駐車されないようにお願いします。駐車場に空きがない場合は周辺のコインパーキングをご利用ください。**駐車場の奥から3台分(①②③)のスペースはクリニックの駐車場ではありません。**最近、間違っって車を停められるケースがあり、借主の方に大変ご迷惑をおかけしていますので、くれぐれもご注意ください！